



Viva Kango

Japanese Red Cross Hokkaido College of Nursing



RCHOKKAIDO

学校法人 日本赤十字学園
日本赤十字北海道看護大学
編集・発行／広報委員会

〒090-0011 北海道北見市曙町 664 番地 1 TEL 0157(66)3311 FAX : 0157(61)3125
HP : <https://www.rchokkaido-cn.ac.jp/>

冬期災害と感染症対策、
避難所は万全か。



11回目の実施となる厳冬期避難所展開・宿泊演習 2023



体育館では、約2分で組立が可能な第三代段ボールベッド50台、そして従来型50台の計100台を展開し宿泊演習を進めた。

3年ぶりの開催 RCH Viva Kango 厳冬期避難所展開・宿泊演習

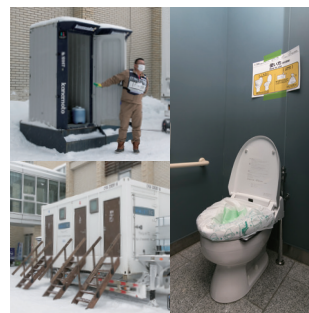
2 023年1月21日(土)～22日(日)、本学において厳冬期避難所展開・宿泊演習2023が開催されました。2010年に災害RCHの研究会が立ち上がったから11回目の開催。日本全国から赤十字関係者をはじめ、災害医療・保健・福祉担当者、国・都道府県・市町村の防災担当者、避難所に関わる専門企業ならびに報道機関など総勢126名のご参画をいただきました。



厳冬期避難所展開・宿泊演習 2023 開会式。

新型コロナウイルス感染症による2年間の休止を経て3年ぶりの開催となった本演習は、当日の朝の気温が氷点下16度まで下がるベストコンディションの中、感染症対策を施した冬期避難所の展開という高い目標を掲げ、「KB+W・C」の項目を踏まえて実施いたしました。
【T：トイレ】トイレだけで3種類

(携帯トイレ、仮設トイレ、コンテナ型トイレ)を検証し、男性と女性に分かれて、厳冬期の寒さを踏まえたトイレ対策を施しました。



右：携帯トイレ、左上：仮設トイレ、左下：コンテナ型トイレ

【K：キッチン】夕と朝に提供した食事は、大型のバスの内部がすべて厨房と化した「クルーズキッチン」を使用して調理を行いました。クルーズキッチンのシェフによるご指導のもと、調理スタッフとして本学2・3年生9名が交代で従事し、素晴らしい料理が完成しました。夕食はレトルトの牛丼の素をアレンジした「牛じゃがオニオンあんかけご飯」、朝食はレトルトの長期保存力



夕食の「牛じゃがオニオンあんかけご飯」



食の演習では、クルーズキッチンの調理スタッフとして本学2・3年生9名が交代で従事。大規模かつ安全な炊き出しを展開した。



根本 昌宏 Masahiro Nemoto

日本赤十字北海道看護大学教授（看護薬理学領域）兼災害対策教育センター長／日本赤十字看護大学附属災害救護研究所災害救援技術部門専任研究員。2009年から寒冷地の災害対策、特に避難生活の健康を保持する実践検証を継続。2020年から内閣府 日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震対策検討ワーキンググループ委員、2022年から北海道地震防災対策における減災目標策定に関するワーキンググループ委員を務める。

レールをアレンジした「じゃがオニオンみそカレースープ」で、味気のないレトルト食品が、心のこもった温かい料理へと変化していました。【B：ベッド】生活・就寝環境は3年前と大きく変化しました。段ボール製パーティションの展開は予想以上に手間がかかり、参加者から口々に改善点が挙げられました。段ボールベッドは今回初登場のクイックタイプで、これには賛辞が多く寄せられていました。

【W：ウォーム】暖房として使用した熱交換式ジェットヒーターは、今回初めて内気循環型にしたことともに車の電源で稼働させ続けることに成功しました。また就寝直前の時間には、学生たちと教員が主導して実施した濡れない足湯を行いました。段ボールに大型のビニール袋を入れてお湯をはり、そこにビニール袋でカバーした足を入れると出来上がりです。この効果は絶大で、車中泊演習【C：Can】に参加された方はマイナス10℃前後の気温で冷え切った力

ラダがみるみる温まる感覚を得ており、マスク越しではありませんが、笑顔の溢れる光景となりました。お湯は屋外に大量に存在する雪から作成することを予定していましたが、あまりの寒さにも湯がでないという現象にも遭遇しました。演習を行うことの大切さを実感した次第です。

演習にご参加いただいた皆さまはそれぞれの専門性、それぞれの地域で、本演習で得られた知見を最大限ご活用いただけることと思います。また、この演習の場で大活躍してくれた9名の学生さんの皆さまには心から御礼を申し上げます。ここで得た経験を活かしていただきたいと思います。



冷えた身体を足湯で温める。



RCH Viva Kango

全面的な実施、3年ぶりに再開。

1年次後期「赤十字救急法」では、一次救命処置や応急手当の知識や技術の習得とあわせて、将来の医療従事者としての使命感や自信に加え、災害における行動力、リーダーシップを養い

ます。新型コロナウイルス感染拡大の影響により一部実技を見合わせていましたが、本年度後期から人工呼吸の実技は実施しない等の感染防止対策を講じたうえで、3年ぶりに全面的な実

施を再開しました。年末の大雪による延期もありましたが、学生らは真剣に取り組み、「もしもの時には」との思いを強くしました。これからも、赤十字の理念を体感しながら、学んでいきます。



RCH Viva Kango

努力の成果を今こそ発揮！ 国家試験に挑んだ4年生へメッセージ。

尾山 人生の大きな節目となる国家試験。今までの努力の成果を今こそ発揮する時です。自分を信じて全力で挑んでください!!
村林 予想外の事態で苦しかった3年間でしたが、皆

さんの努力の成果を見せるときです。全員合格を信じています。
前田 試験当日は、落ち着いてこれまでの学習成果を発揮して下さい。4年生担任、大学教職員一同、皆さ

んを応援しています！
藤谷 応援メッセージを…とのことですが、これを手にする時には試験は終わっていますね。お疲れ様！今、みんなが笑顔でいることを祈っています！

Column

本学は高い対面講義・臨地実習率を実現しています!!

学生の皆さまが感染防止対策を徹底して頂いたことで、令和4年度後期も前期に引き続き高い対面講義実施率・臨地実習実施率を実現できました。1年間ご協力頂き、ありがとうございました。

対面講義・臨地実習の実施率	対面講義の実施率	99.7%
	臨地実習の実施率	88.8%

キャンパス内を歩いているかのような体験



完成しました!



VR TOUR